

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後	現 行
<p style="text-align: center;">3. コンクリート工</p> <p>①・② [略]</p> <p>③鉄筋工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p><u>本資料は、河川・海岸・道路・水路・橋梁・トンネル等の鉄筋構造物のうち、現場における加工・組立及び継手に適用する。</u> <u>なお、鉄筋は普通鉄筋、異形棒鋼を問わず適用できるものとする。また、鉄筋工の継手は重ね継手を標準とし、ガス圧接継手や機械式継手（グラウト）、機械式継手（ねじ加工）の場合は材料費・設置手間を別途計上する。</u></p> <p>1-1 適用出来る範囲</p> <p>1-1-1 加工・組立</p> <p><u>(1) 一般構造物（鉄筋径：10mm～51mm）</u> <u>(2) 橋梁用床版（鉄筋径：13mm～25mm）</u> <u>(3) 場所打ち杭の鉄筋かご（鉄筋径：13mm～35mm）</u> <u>(4) トンネル内構造物（鉄筋径：10mm～51mm）</u> <u>(5) 差筋および杭頭処理（鉄筋径：10mm～51mm）</u></p> <p>1-1-2 継手</p> <p><u>(1) 鉄筋構造物の組立作業における手動式（半自動式）のガス圧接継手</u> <u>(2) 鉄筋径16mm～51mm までのガス圧接継手</u> <u>(3) 現場で打設する鉄筋コンクリート構造物の組立作業における軸方向鉄筋の機械式継手工</u> <u>(4) ロックナットが無く、有機系グラウト材を用いるねじ節鉄筋継手（グラウト固定方式）</u> <u>(5) スリーブ圧着ネジ継手、摩擦圧着ネジ継手</u> <u>(6) 鉄筋径13mm～51mm までの機械式継手</u></p> <p>1-2 適用出来ない範囲</p> <p>1-2-1 加工・組立</p> <p><u>(1) ダム本体工事における鉄筋工</u> <u>(2) 鉄筋工の歩掛が個別に設定されている工種（コンクリートブロック積（張）工、コンクリート舗装工、橋梁地覆補修工、ポストテンション桁製作工、PC橋架設工、ポストテンション場所打ホロースラブ橋工、ポストテンション場所打箱桁橋工、伸縮装置工、沓座拡張工）</u></p> <p>1-2-2 継手</p> <p><u>(1) 熱間押抜法によるガス圧接継手</u> <u>(2) プレキャスト（継手内蔵）、コンクリート打継面（鉄筋継手を一断面に集めて配置）の接合</u> <u>(3) ロックナット付、無機系グラウト材を用いるねじ節鉄筋継手（グラウト固定方式）</u> <u>(4) モルタル充填継手</u></p> <p>2. 施工概要</p> <p>2-1 施工内容</p> <p>2-1-1 加工・組立</p> <p><u>鉄筋を設計図に示された形状及び寸法に一致するように、鉄筋加工機等を用いて加工し、鉄筋結束線等により組立てる工法である。</u></p> <p>2-1-2 ガス圧接継手</p> <p><u>2 本の鉄筋を酸素とアセチレンなどの可燃性ガスの火炎によって金属端面を高温に加熱し、同時に軸方向の圧力をかけることで接合を行う工法である。</u></p> <p>2-1-3 機械式継手（グラウト）</p> <p><u>2 本の鉄筋を、カプラー（スリーブ）と鉄筋の隙間に高強度のグラウト材を注入・硬化させることで接合を行う工法である。</u></p>	<p style="text-align: center;">3. コンクリート工</p> <p>①・② [略]</p> <p>[新設]</p>

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後	現 行																																																																			
<p><u>2-1-4 機械式継手（ねじ加工）</u> 2本の鉄筋を、グラウトを使わず、ロックナット等をトルクレンチ等で締め付けることで機械的に固定し接合を行う工法である。</p> <p><u>2-2 施工フロー</u> 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[機材搬入] --> B[加工] B --> C[組立・継手] C --> D[機材搬出] </pre> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p><u>3-1 加工</u></p> <p><u>3-1-1 施工歩掛</u> 加工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 加工歩掛 (1t当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="6">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>10~13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役 人</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td>人</td> <td></td> <td>2.3</td> <td>1.7</td> <td>1.2</td> <td>1.1</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td></td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運 転</td> <td>日</td> <td>油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td></td> <td colspan="6">12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さを問わず、同一歩掛とする。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。 4. フック鉄筋以外の定着工法用の鉄筋加工費、鉄筋のねじ切り加工費は別途計上する。 5. フレア溶接を行う場合は、フレア溶接費用を別途計上する。 6. 諸経費は鉄筋曲機・鉄筋切断機・電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 鉄筋加工に伴う現場内小運搬を含む。</p> <p><u>3-1-2 鉄筋使用量</u> 鉄筋の使用量は次式による。 使用量 (t) = 設計量 (t) × (1+K) ・ ・ ・ ・ ・ 式 3.1 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表 3.2 ロス率(K)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.03</td> </tr> </table> <p><u>3-2 組立</u></p> <p><u>3-2-1 一般構造物</u> 一般構造物における組立の歩掛は、次表を標準とする。</p>	名 称	単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)						10~13	16~25	29~32	35	38	41	51	世 話 役 人	人		0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	鉄 筋 工	人		2.3	1.7	1.2	1.1	1.0	1.0	0.8	普通作業員	人		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	ラフテレーンクレーン運 転	日	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	諸 雑 費	%		12						ロ ス 率	+0.03	
名 称				単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)																																																														
	10~13	16~25	29~32			35	38	41	51																																																											
世 話 役 人	人		0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1																																																											
鉄 筋 工	人		2.3	1.7	1.2	1.1	1.0	1.0	0.8																																																											
普通作業員	人		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1																																																											
ラフテレーンクレーン運 転	日	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型 (2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04																																																											
諸 雑 費	%		12																																																																	
ロ ス 率	+0.03																																																																			

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後

現行

表3.3 組立歩掛(一般構造物) (1t当り)

名 称	単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)						
			10~13	16~25	29~32	35	38	41	51
世 話 役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
鉄 筋 工	人		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1
普 通 作 業 員	人		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
ラフテレーンクレーン運転	人	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(2014年規制)最大吊上能力25t吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
諸 雑 費	%		8				11		

- (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。
 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。
 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。
 4. 組立架台や組立鋼材（形鋼）を必要とする場合には、別途計上する。
 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。
 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。

3-2-2 橋梁用床版

橋梁用床版における組立の歩掛は、次表を標準とする。

表3.4 組立歩掛(橋梁用床版) (1t当り)

名 称	単 位	規 格	鉄 筋 径 (mm)	
			13	16~25
世 話 役	人		0.4	0.4
鉄 筋 工	人		3.2	2.6
普 通 作 業 員	人		0.2	0.2
ラフテレーンクレーン運転	人	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(2014年規制)最大吊上能力25t吊	0.07	0.07
諸 雑 費	%		14	

- (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。
 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。
 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。
 4. 組立架台や組立鋼材（形鋼）を必要とする場合には、別途計上する。
 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。
 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。

3-2-3 場所打鉄筋かご

場所打鉄筋かごにおける組立の歩掛は、次表を標準とする。

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後

現行

表3.5 組立歩掛(現場打鉄筋かご) (1t当り)

名称	単位	鉄筋径(mm)			
		13	16~25	29~32	35
世話役	人	0.4	0.3	0.2	0.2
鉄筋工	人	2.8	2.1	1.6	1.1
普通作業員	人	0.2	0.2	0.1	0.1
諸雑費	%	6			

- (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。
 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。
 3. 組立架台を必要とする場合には、別途計上する。
 4. 組立に伴う現場内小運搬を含む。
 5. 場所打杭用かご筋をあらかじめ掘削坑内以外において組立てる場合に適用し、掘削坑内でかご状に組立てる場合については「一般構造物」を適用する。
 6. 固定金具や補強材（補強リング）の設置手間は含むが、材料費は含まない。
 7. 場所打杭用かご筋は、固定金具、補強材およびスペーサの重量は含まない。ただし、補強材およびスペーサに異形棒鋼または丸鋼を使用する場合は、補強材およびスペーサの重量を加算する。
 8. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。

3-2-4 トンネル内構造物

トンネル内構造物における組立の歩掛は、次表を標準とする。

表3.6 組立歩掛(トンネル内構造物) (1t当り)

名称	単位	規格	鉄筋径(mm)						
			10~13	16~25	29~32	35	38	41	51
トンネル世話役	人		0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
トンネル特殊員	人		3.5	2.9	2.1	1.7	1.4	1.2	1.1
トンネル作業員	人		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
ラフテレーンクレーン運転	日	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(2014年規制)最大吊上能力25t吊	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
諸雑費	%		8			11			

- (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。
 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。
 3. ラフテレーンクレーンは賃料とする。
 4. 組立架台や組立鋼材（形鋼）を必要とする場合には、別途計上する。
 5. 組立に伴う現場内小運搬を含む。
 6. 諸雑費は鉄筋結束機及び結束線、ハッカー、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。

3-2-5 差筋および杭頭処理

差筋および杭頭処理の組立歩掛は、次表を標準とする。

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後

現 行

表3.7 組立歩掛(差筋および杭頭処理) (1t当り)

名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)						
		10~13	16~25	29~32	35	38	41	51
世 話 役	人	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
鉄 筋 工	人	3.3	2.8	2.0	1.6	1.3	1.1	1.0
普 通 作 業 員	人	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
諸 雑 費	%	2						

- (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。
 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。
 3. 組立に伴う現場内小運搬を含む。
 4. 諸雑費は電気溶接機、電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。

3-3 継手

3-3-1 ガス圧接継手

構造物等によりガス圧接を必要とする場合には、次表を標準とする。

表3.8 ガス圧接継手歩掛 (100箇所当り)

名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)					
		16~25	29~32	35	38	41	51
世 話 役	人	0.2	0.5	0.6	0.8	0.9	1.5
鉄 筋 工	人	0.5	1.3	1.7	2.1	2.5	4.2
溶 接 工	人	1.2	2.9	4.3	5.0	6.1	10.2
普 通 作 業 員	人	0.4	1.0	1.3	1.6	1.9	3.2
アセチレンガス	kg	5.0	6.5	21.0	35.0	38.5	105.0
酸 素	m ³	5.0	6.5	14.0	23.0	27.4	70.0
諸 雑 費	%	8					

- (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。
 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。
 3. 径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。
 4. 圧接前の配筋および圧接後の鉄筋の切断費用、試験費用は含まない。
 5. 諸雑費はガス圧接装置・電力にかかる経費等の費用であり、労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。

3-3-2 機械式継手(グラウト)

(1) 施工歩掛

構造物等により機械式継手(グラウト)を必要とする場合には、次表を標準とする。

表3.9 機械式継手(グラウト)歩掛 (100箇所当り)

名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)						
		13	16~25	29~32	35	38	41	51
世 話 役	人	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
鉄 筋 工	人	3.4	4.0	4.5	4.7	4.8	5.0	5.3
普 通 作 業 員	人	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
諸 雑 費	%	1						

- (注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。
 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。
 3. 径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。
 4. グラウト材については、必要量を計上する。
 5. 諸雑費は手動式注入器等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後	現行																																																																																																																																	
<p style="text-align: center;"><u>上限として計上する。</u></p> <p>(2) グラウト材使用量 グラウト材の使用量は次式による。 使用量(個) = 設計量(個) × (1+K) 式 3.2 K: ロス率</p> <p style="text-align: center;">表 3. 10 ロス率(K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロス率</td> <td style="text-align: center;">+0.03</td> </tr> </table> <p>3-3-3 機械式継手(ねじ加工) <u>構造物等により機械式継手(ねじ加工)を必要とする場合には、次表を標準とする。</u></p> <p style="text-align: center;">表 3. 11 機械式継手(ねじ加工)歩掛 (100箇所当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="7">鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>13</th> <th>16~25</th> <th>29~32</th> <th>35</th> <th>38</th> <th>41</th> <th>51</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td>人</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>2.5</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td>%</td> <td colspan="7" style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 普通鉄筋・異形鉄筋とも同一歩掛とする。 2. 鉄筋強度、長さに関わらず同一歩掛とする。 3. 径違いの接合の場合は上位規格の径を適用する。 4. 鉄筋本体の材料費は異形棒鋼を計上する。 5. 諸雑費はトルクレンチ等の費用であり、労務費の合計額に上表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4. 単価表</p> <p>(1) 鉄筋加工 1t 当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3.1</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型排出ガス 対策型(2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊</td> <td>且</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>鉄筋材料</td> <td>径○mm</td> <td>t</td> <td></td> <td>式 3.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 3.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 鉄筋組立(一般構造物) 1t 当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 3.3</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型排出ガス 対策型(2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊</td> <td>且</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表 3.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ロス率	+0.03	名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)							13	16~25	29~32	35	38	41	51	世話役	人	0.8	1.0	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5	鉄筋工	〃	1.3	1.7	2.1	2.2	2.4	2.5	2.7	普通作業員	〃	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	諸雑費	%	1							名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世話役		人		表 3.1	鉄筋工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型排出ガス 対策型(2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊	且		〃	鉄筋材料	径○mm	t		式 3.1	諸雑費		式	1	表 3.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世話役		人		表 3.3	鉄筋工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型排出ガス 対策型(2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊	且		〃	諸雑費		式	1	表 3.3	計					
ロス率	+0.03																																																																																																																																	
名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)																																																																																																																																
		13	16~25	29~32	35	38	41	51																																																																																																																										
世話役	人	0.8	1.0	1.2	1.3	1.3	1.4	1.5																																																																																																																										
鉄筋工	〃	1.3	1.7	2.1	2.2	2.4	2.5	2.7																																																																																																																										
普通作業員	〃	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6																																																																																																																										
諸雑費	%	1																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																														
世話役		人		表 3.1																																																																																																																														
鉄筋工		〃		〃																																																																																																																														
普通作業員		〃		〃																																																																																																																														
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型排出ガス 対策型(2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊	且		〃																																																																																																																														
鉄筋材料	径○mm	t		式 3.1																																																																																																																														
諸雑費		式	1	表 3.1																																																																																																																														
計																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																														
世話役		人		表 3.3																																																																																																																														
鉄筋工		〃		〃																																																																																																																														
普通作業員		〃		〃																																																																																																																														
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型排出ガス 対策型(2014年規制) 最大吊上能力 25t 吊	且		〃																																																																																																																														
諸雑費		式	1	表 3.3																																																																																																																														
計																																																																																																																																		

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後					現行				
(3) 鉄筋組立(橋梁用床版)1t 当り単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
世 話 役		人		表 3.4					
鉄 筋 工		〃		〃					
普 通 作 業 員		〃		〃					
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型排水ガス 対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		〃					
諸 雑 費		式	1	表 3.4					
計									
(4) 鉄筋組立(場所打鉄筋かご)1t 当り単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
世 話 役		人		表 3.5					
鉄 筋 工		〃		〃					
普 通 作 業 員		〃		〃					
諸 雑 費		式	1	表 3.5					
計									
(5) 鉄筋組立(トンネル内構造物)1t 当り単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
世 話 役		人		表 3.6					
鉄 筋 工		〃		〃					
普 通 作 業 員		〃		〃					
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型排出ガス 対策型(2014年規制) 最大吊上能力25t吊	日		〃					
諸 雑 費		式	1	表 3.6					
計									
(6) 鉄筋組立(差筋および杭頭処理)1t 当り単価表									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
世 話 役		人		表 3.7					
鉄 筋 工		〃		〃					
普 通 作 業 員		〃		〃					
諸 雑 費		式	1	表 3.7					
計									

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後					現行				
<u>(7) ガス圧継手 100 箇所当り単価表</u>									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
世 話 役		人		表 3.8					
鉄 筋 工		〃		〃					
溶 接 工		〃		〃					
普通作業員		〃		〃					
アセチレンガス		kg		〃					
酸 素		m3		〃					
諸 雑 費		式	1	〃					
計									
<u>(8) 機械式継手(グラウト)100 箇所当り単価表</u>									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
世 話 役		人		表 3.9					
鉄 筋 工		〃		〃					
普通作業員		〃		〃					
継 手		セット	100						
グラウト材		個		式 3.2					
諸 雑 費		式	1	表 3.9					
計									
<u>(9) 機械式継手(ねじ加工)100 箇所当り単価表</u>									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要					
世 話 役		人		表 3.11					
鉄 筋 工		〃		〃					
普通作業員		〃		〃					
継 手		セット	100						
諸 雑 費		式	1	表 3.11					
計									

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後	現 行
<p style="text-align: center;">6. 河川・水路工</p> <p>⑤ 消波工 1～3 [略] 4. ブロック製作・据付工 4-1～4-3 [略] 4-4 製作 4-4-1 鉄筋工 鉄筋工は、「<u>土地改良事業等請負工事標準歩掛3. コンクリート工③鉄筋工</u>」による。</p> <p style="text-align: center;">11. トンネル工</p> <p>① 岩トンネル（レグ工法） 1～6 [略] 7. 覆工コンクリート 7-1～7-5 [略] 7-6 水路トンネル鉄筋工 水路トンネルの覆工コンクリートを鉄筋コンクリートとする場合の鉄筋工については、<u>土地改良事業等請負工事標準歩掛 3. コンクリート工③鉄筋工により別途計上する。</u> ただし、現場条件等によりこれにより難い場合は、別途考慮する。</p>	<p style="text-align: center;">6. 河川・水路工</p> <p>⑤ 消波工 1～3 [略] 4. ブロック製作・据付工 4-1～4-3 [略] 4-4 製作 4-4-1 鉄筋工 鉄筋工は、「<u>標準歩掛17. 市場単価①鉄筋工（太径鉄筋を含む）</u>」による。</p> <p style="text-align: center;">11. トンネル工</p> <p>① 岩トンネル（レグ工法） 1～6 [略] 7. 覆工コンクリート 7-1～7-5 [略] 7-6 水路トンネル鉄筋工 水路トンネルの覆工コンクリートを鉄筋コンクリートとする場合の鉄筋工は<u>市場単価による。</u>ただし、現場条件等によりこれにより難い場合は、別途考慮する。</p>

改正後	現 行				
<p>17. 市場単価 市場単価方式により積算を行う工程</p>	<p>17. 市場単価 市場単価方式により積算を行う工程</p>				
<p>[削る。]</p>	<p>① 鉄筋工（太径鉄筋を含む）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">市場単価方式によるもの</th> <th style="text-align: center;">(参考)市場単価方式によらないもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>法面工のコンクリート法枠（現場打）工、擁壁工の補強土壁（壁面上端処理）工、鋼管・既製コンクリート打工の既製杭頭処理工（パイルハンマ工、プレボーリング・中掘工）、場所打杭工の深礎工、オープンケーソン工、ニューマチックケーソン工、付属施設工（洞門工及び各種コンクリート基礎工）、共同溝、橋梁上部工（鋼橋床版工、グレーチング床版架設工及び足場工）、RC場所打ホロースラブ橋、その他（河川、海岸、道路、コンクリート橋梁、鋼橋用及びコンクリート橋（PCコンボ橋、PC合成桁橋）用床版等の構造物）、さし筋（削孔等を行うあと施工アンカーは除く）、場所打杭の鉄筋かご、（オールケーシング、リバースサーキュレーション、アースオーガ、大口径ボーリングマシン）、トンネル覆工、電線共同溝</p> </td> <td> <p>コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工、道路維持修繕の橋梁地覆補修工、橋梁上部工（ポストテンション桁製作工、PC橋架設工、ポストテンション場所打ホロースラブ橋、ポストテンション場所打箱桁橋）、沓座拡幅工、その他（特に加工・組立が困難な構造物）</p> </td> </tr> </tbody> </table>	市場単価方式によるもの	(参考)市場単価方式によらないもの	<p>法面工のコンクリート法枠（現場打）工、擁壁工の補強土壁（壁面上端処理）工、鋼管・既製コンクリート打工の既製杭頭処理工（パイルハンマ工、プレボーリング・中掘工）、場所打杭工の深礎工、オープンケーソン工、ニューマチックケーソン工、付属施設工（洞門工及び各種コンクリート基礎工）、共同溝、橋梁上部工（鋼橋床版工、グレーチング床版架設工及び足場工）、RC場所打ホロースラブ橋、その他（河川、海岸、道路、コンクリート橋梁、鋼橋用及びコンクリート橋（PCコンボ橋、PC合成桁橋）用床版等の構造物）、さし筋（削孔等を行うあと施工アンカーは除く）、場所打杭の鉄筋かご、（オールケーシング、リバースサーキュレーション、アースオーガ、大口径ボーリングマシン）、トンネル覆工、電線共同溝</p>	<p>コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工、道路維持修繕の橋梁地覆補修工、橋梁上部工（ポストテンション桁製作工、PC橋架設工、ポストテンション場所打ホロースラブ橋、ポストテンション場所打箱桁橋）、沓座拡幅工、その他（特に加工・組立が困難な構造物）</p>
市場単価方式によるもの	(参考)市場単価方式によらないもの				
<p>法面工のコンクリート法枠（現場打）工、擁壁工の補強土壁（壁面上端処理）工、鋼管・既製コンクリート打工の既製杭頭処理工（パイルハンマ工、プレボーリング・中掘工）、場所打杭工の深礎工、オープンケーソン工、ニューマチックケーソン工、付属施設工（洞門工及び各種コンクリート基礎工）、共同溝、橋梁上部工（鋼橋床版工、グレーチング床版架設工及び足場工）、RC場所打ホロースラブ橋、その他（河川、海岸、道路、コンクリート橋梁、鋼橋用及びコンクリート橋（PCコンボ橋、PC合成桁橋）用床版等の構造物）、さし筋（削孔等を行うあと施工アンカーは除く）、場所打杭の鉄筋かご、（オールケーシング、リバースサーキュレーション、アースオーガ、大口径ボーリングマシン）、トンネル覆工、電線共同溝</p>	<p>コンクリート山止め壁工の場所打連続壁工、道路維持修繕の橋梁地覆補修工、橋梁上部工（ポストテンション桁製作工、PC橋架設工、ポストテンション場所打ホロースラブ橋、ポストテンション場所打箱桁橋）、沓座拡幅工、その他（特に加工・組立が困難な構造物）</p>				
<p>[削る。]</p> <p>① 防護柵設置工（ガードレール）</p> <p>② 防護柵設置工（横断・転落防止柵）</p> <p>③ 防護柵設置工（落石防護柵）</p> <p>④ 防護柵設置工（落石防止網）</p> <p>⑤ 防護柵設置工（ガードパイプ）</p> <p>⑥ 道路標識設置工</p> <p>⑦ 道路付属物設置工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視線誘導標 <p>⑧ 法面工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モルタル吹付工 ・コンクリート吹付工 ・植生基材吹付工 ・客土吹付工 ・種子散布工 ・枠内吹付工（コンクリート・モルタル・植生基材） ・植生マット工、植生シート工、繊維ネット工 ・植生筋工、筋芝工、張芝工 <p>⑨ 吹付枠工</p> <p>[削る。]</p>	<p>② 鉄筋工（ガス圧接）</p> <p>③ 防護柵設置工（ガードレール）</p> <p>④ 防護柵設置工（横断・転落防止柵）</p> <p>⑤ 防護柵設置工（落石防護柵）</p> <p>⑥ 防護柵設置工（落石防止網）</p> <p>⑦ 防護柵設置工（ガードパイプ）</p> <p>⑧ 道路標識設置工</p> <p>⑨ 道路付属物設置工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視線誘導標 <p>⑩ 法面工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モルタル吹付工 ・コンクリート吹付工 ・植生基材吹付工 ・客土吹付工 ・種子散布工 ・枠内吹付工（コンクリート・モルタル・植生基材） ・植生マット工、植生シート工、繊維ネット工 ・植生筋工、筋芝工、張芝工 <p>⑪ 吹付枠工</p> <p>⑫ 軟弱地盤処理工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンドドレーン工 ・サンドコンパクションパイル工 				

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後	現 行
<p style="text-align: center;">2. 共 通 工</p> <p>② 現場打コンクリート法砕工 1～9 [略] 10. 鉄筋工 鉄筋加工組立は、「土地改良事業等請負工事標準歩掛3. コンクリート工③鉄筋工」を適用する。</p>	<p style="text-align: center;">2. 共 通 工</p> <p>② 現場打コンクリート法砕工 1～9 [略] 10. 鉄筋工 鉄筋加工組立は、市場単価を適用する。</p>

土地改良工事積算基準（土木工事） 一部改正新旧対照表 令和8年7月1日から適用

改正後	現 行
<p style="text-align: center;">2. 共 通 工</p> <p>① [略]</p> <p>② 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁） 1～2 [略]</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1～3-7 [略] 3-8 壁面上端処理工 壁面上端処理を施工する場合は、下記による。 (1)・(2) [略] (3) 鉄筋工 「土地改良事業等請負工事標準歩掛 3. コンクリート工③鉄筋工」により別途計上する。</p> <p>③補強盛土工 1～2 [略]</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1～3-6 [略] 3-7 壁面上端処理工 壁面上端処理を施工する場合は、下記による。 (1)・(2) [略] (3) 鉄筋工 「土地改良事業等請負工事標準歩掛 3. コンクリート工③鉄筋工」により別途計上する。 (4) [略]</p>	<p style="text-align: center;">2. 共 通 工</p> <p>① [略]</p> <p>② 補強土壁工（帯鋼補強土壁、アンカー補強土壁、ジオテキスタイル補強土壁） 1～2 [略]</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1～3-7 [略] 3-8 壁面上端処理工 壁面上端処理を施工する場合は、下記による。 (1)・(2) [略] (3) 鉄筋工 市場単価により別途計上する。</p> <p>③補強盛土工 1～2 [略]</p> <p>3. 施工パッケージ 3-1～3-6 [略] 3-7 壁面上端処理工 壁面上端処理を施工する場合は、下記による。 (1)・(2) [略] (3) 鉄筋工 市場単価により別途計上する。 (4) [略]</p>

改正後	現 行																																											
<p>17. 市場単価</p> <p>工期算定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市場単価の工期算定はどのように算出するのか示されたい。</div> <p>[略]</p> <p style="text-align: center;">・市場単価の1日当り標準施工量</p> <p>[略]</p> <p><u>「削る」</u></p> <p>③～⑫ [略]</p>	<p>17. 市場単価</p> <p>工期算定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市場単価の工期算定はどのように算出するのか示されたい。</div> <p>[略]</p> <p style="text-align: center;">・市場単価の1日当り標準施工量</p> <p>[略]</p> <p>① 鉄筋工</p> <p style="text-align: center;">表1.1</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">規格・仕様</th> <th style="text-align: center;">施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">一般構造物</td><td style="text-align: center;">3.5 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">切梁のある構造物</td><td style="text-align: center;">3.0 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">地下構造物</td><td style="text-align: center;">4.0 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">橋梁用床版</td><td style="text-align: center;">4.0 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">場所打杭用かご筋</td><td style="text-align: center;">6.5 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">R.C場所打ちホロースラブ</td><td style="text-align: center;">2.5 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">差筋及び杭頭処理</td><td style="text-align: center;">3.5 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">一般構造物 (太径鉄筋混合)</td><td style="text-align: center;">5.0 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">切梁のある構造物 (太径鉄筋混合)</td><td style="text-align: center;">4.0 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">地下構造物 (太径鉄筋混合)</td><td style="text-align: center;">4.0 t</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">場所打杭用かご筋 (太径鉄筋混合)</td><td style="text-align: center;">9.0 t</td></tr> </tbody> </table> <p>② 鉄筋工（ガス圧接）</p> <p style="text-align: center;">表2.1</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">規格・仕様</th> <th style="text-align: center;">施工数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> ガス圧接工 手動(半自動) 自 動 </td> <td style="text-align: center;">D19+D19</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">350箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D22+D22</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D25+D25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D29+D29</td> <td style="text-align: center;">310箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D32+D32</td> <td style="text-align: center;">280箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D35+D35</td> <td style="text-align: center;">240箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D38+D38</td> <td style="text-align: center;">160箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D41+D41</td> <td style="text-align: center;">150箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D51+D51</td> <td style="text-align: center;">130箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>③～⑫ [略]</p>	規格・仕様	施工数量	一般構造物	3.5 t	切梁のある構造物	3.0 t	地下構造物	4.0 t	橋梁用床版	4.0 t	場所打杭用かご筋	6.5 t	R.C場所打ちホロースラブ	2.5 t	差筋及び杭頭処理	3.5 t	一般構造物 (太径鉄筋混合)	5.0 t	切梁のある構造物 (太径鉄筋混合)	4.0 t	地下構造物 (太径鉄筋混合)	4.0 t	場所打杭用かご筋 (太径鉄筋混合)	9.0 t	規格・仕様	施工数量	ガス圧接工 手動(半自動) 自 動	D19+D19	350箇所	D22+D22	D25+D25	D29+D29	310箇所	D32+D32	280箇所	D35+D35	240箇所	D38+D38	160箇所	D41+D41	150箇所	D51+D51	130箇所
規格・仕様	施工数量																																											
一般構造物	3.5 t																																											
切梁のある構造物	3.0 t																																											
地下構造物	4.0 t																																											
橋梁用床版	4.0 t																																											
場所打杭用かご筋	6.5 t																																											
R.C場所打ちホロースラブ	2.5 t																																											
差筋及び杭頭処理	3.5 t																																											
一般構造物 (太径鉄筋混合)	5.0 t																																											
切梁のある構造物 (太径鉄筋混合)	4.0 t																																											
地下構造物 (太径鉄筋混合)	4.0 t																																											
場所打杭用かご筋 (太径鉄筋混合)	9.0 t																																											
規格・仕様	施工数量																																											
ガス圧接工 手動(半自動) 自 動	D19+D19	350箇所																																										
	D22+D22																																											
	D25+D25																																											
	D29+D29	310箇所																																										
	D32+D32	280箇所																																										
	D35+D35	240箇所																																										
	D38+D38	160箇所																																										
	D41+D41	150箇所																																										
D51+D51	130箇所																																											